

第10期通常総会を開催しました。



活動報告書 2023年度

特定非営利活動法人 アジア女性自立プロジェクト
 メール: awep@tcc117.jp Tel: 078-734-3633
 Web: <https://tcc117.jp/awep/> 〒653-0052
 神戸市長田区海運町 3-3-8

2024年6月1日に、通常総会を開催しました。活動報告、決算、活動計画、予算、定款変更のいずれの議案も承認されました。

今年も対面とオンラインで実施しました。対面でのご参加はやや少なめでしたが、オンラインでオプザーバーの方にも、参加、コメントをいただきました。

活動状況については、海外事業で円安と物価高の影響が大きかったが昨年度よりも収益が若干改善されたこと、国内事業では6年ぶりに『外国人女性のための役立つインフォメーション』の改訂版発行ができたことなどを報告しました。財政状況は、国内事業の比重が増えているのに合わせて同事業の規模が増えていること、支援的財源がやや減少したものの、事業的財源と合わせて比較的バランスが取れた中で若干の黒字を計上できたことなどを報告しました。

活動計画の協議では、会員から、若い人の意見を取り入れ、失敗を恐れずチャレンジをと励まし声の声をいただきました。

2023年度、多くの会員、支援者の方の支えのおかげで、事業を進めることができました。2024年度も新しい取り組みが始まっています。その成果は次の総会でご報告します。引き続きどうぞご支援をよろしくお願いいたします。(奈良雅美)



外国人保護者向け生活ガイダンス (神戸市委託事業)

初期日本語指導拠点教室における外国人保護者等を対象とした支援事業

神戸市では年々、日本語学習支援の必要な、外国にルーツをもつ子どもたちが増えています。

この4月から7月まで、新たに来日し、神戸市内の小中学校に通い始めた子どもたちが1か所に集まって、11日間集中的に日本語を学ぶための教室が行われています。

AWEPは、神戸市から委託を受けて、その子どもたちを送迎する保護者のための生活ガイダンスを実施しています。保護者の方の国籍、日本滞在年数、日本語力など、さまざまでその人のニーズにできるだけ合った情報提供などができるように努めています。

ゴミの出し方、医療のかかりかた、交通ルール、子育て支援制度や福祉の制度など、あらかじめ、相談先や支援制度を知っておくことで、生活課題、子育て問題が深刻な状況にまで陥らないように、少しでも役に立てればと考えています。(奈良雅美)



ボランティア紹介 岩谷 優里さん

はじめました。神戸女学院大学4年生の岩谷 優里 (いわたに ゆり) と申します。

高校から大学にかけて日本における移民やジェンダーの問題を学ぶ機会に恵まれた私は、実際に地域に出向き、日本に居住する外国人女性のサポートを行う団体で活動したいという思いをずっと抱いていました。AWEPさんは約30年前の設立当初から外国人女性のサポートに特化した活動を行ってきた歴史ある団体である点に関心を持ち、昨年11月ごろからボランティアとして参加しました。事務局での軽作業に加え、神戸市による委託事業である外国人保護者のための生活ガイダンスのサブコーディネーターなども経験させていただいております。

私はここで実際に外国人女性たちと交流を重ねるなかで、教室のなかでは触れることができなかった彼女たちを取り巻く問題の複雑さ、深刻さに胸をいためることも少なくありませんでした。しかし同時に、どんな状況においても、こどもの幸せを一番に考え、持ち前の明るさと人懐っこい笑顔を武器に、異国の地における居場所の確立を求めて奮闘する女性たちの姿にエンパワーされてきました。AWEPさんでは、同じ社会に生きる隣人たちとともに悲しみ、ともに喜ぶという「共感」の精神を育むチャンスがあると思います。この貴重な出会いに感謝し、微力ながら自分のできることを模索していけたらと願っています。未熟な私ではありますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



おしゃべりのつどい

「語り合おう子育てのこと ～より良い親子関係のために～」を開催

講師 社会福祉法人 神戸少年の町 児童家庭地域支援室
 村田 朝子さん (ソーシャルワーカー)
 谷口 美佳さん (セラピスト)



Our activity in Oshaberi no Tsudoi last April was about Parenting. It was done on-site and online as well. It was one of the much-awaited workshop in AWEP. All Parents wanted to understand their children better and create a happy and healthy relationship to name a few. The first part, experts gave us lecture to fully understand the stages of growth from infant to adulthood. Then we had sharing of our own experience. This gave the opportunity to express the parents' difficulty in raising children from different point of view and from different age group. It was an eye-opener to hear that we all have the same problem. That we share the same sentiment about the struggles in parenting. Filipino mothers were in tears as they narrate their own parenting struggles. There's so much love I felt inside. Amidst the worries, they still thought of the well-being of their children, disregarding their own. And as a single-parent, it was twice as difficult for me. Raising a teenager and raising him alone. It was highly-stressful, and emotionally-draining at the same time. But after attending this workshop, I learned about wonderful ways to deal with my difficulty and be able to understand my son according to the stage of his growth. I was also able to apply the child-rearing "hacks" the expert gave us. This made my relationship better than before and less stressful. I realized that there is no manual for parenting. But we can continue to learn new tricks each time and try whatever will fit you. (野田メアリージーン)

4月の「おしゃべりのつどい」は子育てをテーマに対面とオンラインの両方で行われました。このプログラムは以前から待ち望んでいたものでした。すべての親が、子どもをよりよく理解したい、幸せで健全な関係を築きたいなど、さまざまなことを望んでいます。最初に、乳児から成人までの成長段階を理解するための講義を聴き、その後、参加者が自身の経験を共有しました。さまざまな年齢層の参加者が、それぞれの視点から、子育ての難しさを表現しました。子育てに関して同じ課題、同じ気持ちを共有していることを知り、目から鱗が落ちました。フィリピン出身の母親たちは、自分の子育ての苦労を語りながら涙を流していました。私は心の中に大きな愛を感じました。彼女たちは不安を抱えながらも、親として、自分の幸せよりも子どもの幸せを考えています。シングルペアレントである私にとって、10代の子どもを育てることは2倍大変です。非常にストレスがたまり、精神的にも疲れ果てます。しかし、このワークショップで困難に対処する素晴らしい方法、成長段階に応じ息子を理解することを学びました。今回知った子育ての「コツ」を活用することにより、以前よりも関係が良くなり、ストレスが減りました。子育てにマニュアルはありません。しかし、私たちは常に「コツ」を学び続け、試行錯誤を続けていくことができます。(翻訳 鋤柄利佳)

メンタルヘルスセミナー

「不安な気持ちと付き合うために —外国人女性のためのメンタルヘルスケア入門」を開催

講師 広島大学 ハラスメント相談室 准教授
 山内 浩美先生 (臨床心理士)

近年、相談活動を通じてメンタルヘルスに関する悩みを耳にすることが増えました。そこで、2023年度はフィリピンコミュニティのマサヤンタハナとの共催で、広島県から臨床心理士の山内浩美先生をお招きし、メンタルヘルスセミナーを2回開催しました。1回目(8/27)はメンタルヘルスに関する基本的なお話をさせていただき、2回目(2/11)は「不安な気持ちと付き合う」をテーマにワークショップ(語り合い)を行いました。フィリピン出身の女性たち、日本の女性たち、ルーマニアの出身の方など、それぞれの心に引っかかっていること、家族のこと、課題の乗り越え方など、タガログ語、英語、日本語の3か国語で語り合いました。話題は日本のジェンダーの問題、家父長制、部落差別にも広がり、日本社会の課題が浮き彫りにもなり非常に興味深い場になりました。個人的なしんどの背景には少なからず社会的な構造が影響していることを再認識しました。最後は、フィリピン出身のサラさんお手製のアロスカルド(おかゆ)を皆でいただき、心もお腹も暖まる時間になりました。2024年度も引き続きこのような機会を持ちたいと考えています。(鋤柄利佳)

